



みんな家族
地域の絆で支えあう
とさしみず

土佐清水市第3期地域福祉計画

 実践事例集 2 

令和2年3月

地域福祉計画とは？

土佐清水市第3期地域福祉計画が平成29年3月に策定されました。この計画は『みんな家族 地域の絆で支えあう とさしみず』を基本理念とし、それぞれの地域において誰もが安心して暮らせるよう、地域住民や行政・関係機関が互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組むものです。

基本理念

みんな家族 地域の絆で支えあう とさしみず

| 重点目標 | 活動目標 | 地域での取り組み |
|-------------------------|------------------------|---|
| 地域でつながる まちづくり | 100歳めざそう 健康づくり | 介護予防、認知症予防の取り組みをしよう みんなで歩こう 一日5,000歩 楽しく食べよう三度の食事 |
| | 未来につなごう 伝統行事 | 地域の歴史や伝統を伝え発信しよう(祭りや伝統行事) 地域の行事に参加しよう |
| | 見つけて使おう 地域資源 | 空き家や休耕地を活用しよう 海・山等の産物を活かそう |
| | 深めよう世代間交流 | 子どもや若者が高齢者と集える機会をつくろう 集いの場をつくり継続させよう 男性が集う場所をつくろう |
| 安心して暮らせる まちづくり | すすめよう生活 (買い物・移動)の協力 | お店や通販と一緒に買い物しよう 移動手段の活用方法をみんなで工夫しよう 通学・通園バスの乗降りを手伝おう |
| | すすめよう体の元気と心の 元気 | 診察の立ち会いや受診の協力をしよう 普段から何でも相談できる場をつくろう |
| | すすめよう災害への 備え | 災害時要配慮者を支援するネットワークをつくろう 防災意識を高めよう みんなが避難訓練に参加しよう 防災マップをつくり地域で情報を共有しよう |
| 暮らしを支える まちづくり | 見守り・声かけ 支え合うまちづくり | 高齢者への見守り・声かけをしよう 登下校時の子どもの見守り・声かけをしよう 隣近所への声かけから始めよう 生活上気になる人を見つけたら専門機関へつなごう 子育て世帯への見守りをしよう |
| | 広げよう ボランティア活動 | ゴミ出し困難者への協力をしよう 福祉協力員等を増やそう 地域でボランティアグループをつくろう ボランティアの周知をしよう |
| 福祉の心を 育てる まちづくり | 育てよう福祉を 支える人材 | 地域でリーダーの育成をしよう 認知症への理解を深めよう |
| | 充実させよう 福祉教育 | 子どもが地域で学べる機会を増やそう 子ども民生委員の活動を広めよう 体験学習を通して様々な人への理解を深めよう |
| 若い人が 住みたくなる まちづくり | 活かそう 地域の魅力 | 地域の資源を活かした職業体験をしよう インターネットなどで地域の情報を発信しよう 地域のつながりを活かしたU・Iターンの受け入れ体制をつくろう |
| | みんなで作ろう 地域の未来 | 地域の中で集まり、話し合いができる場をつくろう 若い人たちも相談しやすい地域の場をつくろう 地域の後継者を育てよう |

社会福祉法改正に伴う追加事項

社会福祉法の一部が改正され、平成30年4月1日に施行されたことにより、地域福祉計画の記載事項として福祉に関し共通して取り組むべき事項を追加することとされ、平成31年3月に追補版を策定しました。

この追補版による追加事項は、社会福祉協議会と市（行政）の主体的な活動が求められるものであるため、その役割や取り組みについて計画を策定しています。

| 重点目標 | 活動目標 | 社会福祉協議会、市（行政）の役割、取り組み |
|-------------------|-----------------------------------|---|
| 地域でつながる まちづくり | 課題を抱える人の就労や活躍の場の確保等を目的にした様々な分野の連携 | 住民や関係機関が連携できるようつなぎ役として、顔の見える関係を築いていきます 本人の特性や生活状況に合わせて支援ができるようコーディネート機能の強化に努めます |
| | 地域づくりにおける官民協働の促進や寄付・共同募金等の取り組みの推進 | 住民相互の支え合い・助け合い体制の構築を推進します 共同募金を推進し、地域活動や福祉へ役立てます ふるさと納税の返礼品で地場産業の活性化を行います |
| 安心して暮らせる まちづくり | 制度の狭間の課題への対応 | 助け合い・支え合い体制の構築を推進します 多様化する福祉ニーズに対応する相談体制の充実を図ります 潜在的な要支援者の把握・支援をし、自立につなげます 就労支援・生活支援・社会参加を進めます |
| | 生活困窮者などへの各分野横断的な支援 | |
| | 高齢者、障害者、児童に対する虐待への対応と支援 | 虐待の早期相談・通報の啓発・相談に対する支援を行います 関係機関や民生委員・児童委員と連携をとり速やかに対応します |
| | 犯罪をした人などへの社会復帰支援 | 情報収集や個別ケースへの対応に努めます 就労支援・生活支援・社会参加を進めます 関係機関への助成等支援を行います |

はじめに

平成29年3月に土佐清水市第3期地域福祉計画を策定して、3年が経過しました。基本理念である「みんな家族 地域の絆で支えあう とさしみず」をめざして、それぞれの地域において、さまざまな取り組みが行われています。

この計画は、誰もががしあわせを感じて暮らせるよう地域のみなさまで取り組んでいくための道しるべとなるものです。住民座談会を通して、地区ごとにどのようなまちにしたいのか、そのためには何をすればよいのかを話し合い、目標を立てました。

ここでは、それぞれの地域で行っている取り組みについて、いくつかご紹介します。今後、少しでもこの冊子がヒントとなり、みなさまの地域福祉活動に役立てていただけることを願っています。



住民 座談会

基本理念「みんな家族 地域の絆で支えあう とさしみず」
各地区で決めた目標や意見についてご紹介します。

立石 立石が100年続くように！

立石地区では目標について話し合う中、「100年続く立石」「健康に過ごす」「楽しく暮らす」といった意見が出されるなど、活発な意見交換の場となりました。豊かな自然や住民の和といった立石のいいところを活かした地域の活性化に向けた案や、介護予防や困りごとの相談といった意見が出ました。

早速、コスモスの種を植えました。花が咲き誇る季節には、ぜひ足を運んでみてください。



横峯 山の自然を活かして 精いっぱい現状維持 がんばろう横峯

横峯地区での住民座談会は、寒い夜の開催となりましたが、出される意見はとても熱く、『山の自然を活かして精いっぱい現状維持 がんばろう横峯』という目標がまきました。「山の自然」という横峯のお宝と地域のつながりを結び付けた取り組みが、今後の横峯につながるよう頑張ってください！



寿町 地域のことについて 様々な意見がでました！

寿町地区では、「人が集まる場所がない」、「地区で団結する機会がない」という意見の一方で、「つながりのある人もいる」、「現状に満足している」という声も聞かれたり、避難訓練を含めた防災について話し合ったりするなど、地域のことを話し合う良い機会となりました。



片粕 できる範囲で 元気でいよう！

片粕地区では、若者から高齢の方まで幅広い年代の方が集まり、地域について話し合いました。子どもの声が聞こえることや、地区の平均年齢が若いことは、片粕の魅力です。困った事があれば頼みやすい関係性があり、高齢になっても、畑仕事や散歩を通じて各自ができる範囲で元気でいようと取り組んでいます。



実践事例

地域でつながるまちづくり



子どもから高齢者まで、みんなが楽しく集える機会をつくりたい。その思いから、各地区でさまざまな活動に取り組んでいます。

旭町

3世代交流の場『ひなたぼっこ』



旭町地区では、「人の集まるまち みんなで支えあえるまち」を目標に、3世代交流の場として「ひなたぼっこ」を開催しています。

「ひなたぼっこ」は、旭町いきいきサロンとボランティアサークルみらい工房の共催で、食事をしたり、ゲームをしたりと子どもから大人までみんなの笑い声と笑顔があふれる一日を送っています。

下ノ段

毎週木曜日は集いの日！



「地域のきずなで元気な下ノ段」を目標に取り組みを進めており、毎週木曜日は集まりを行う日になっています。

第1週目はサロン、第2週目は高齢者対象のモーニング、第3週目は地域のモーニング、第4週目は遊ぶ、という形で毎週集まりが行われています。

サロンにも新しい参加者が加わるなど、集まることを通じて地域のきずなが広がりを見せているように感じます。

鳥淵

「健康で助け合える地域」をめざし、健康体操に取り組んでいます！

住民座談会で、「元気」「健康」といったキーワードを基に、「健康で助け合える地域」という目標ができました。月に複数回行われている地域の集まりで、体操などを加えることにより、さらなる充実を図っていこうとの話になりました。現在、集まりのときには健康体操が行われており、健康づくりの輪が広がっています。



久百々

「男性の料理教室」を開催！

久百々地区では、住民座談会で「伝統を大事にする」「声を掛けあう」「元気でいる」などの目標が出されました。その中の取り組みの一つとして、男性がひとりでも栄養や味付けに困らないように「男性の料理教室」を開催することになりました！

調味料よりも、香味野菜や素材の味を活かした献立に基づいて調理し、みんなでおいしくいただきました！

慣れない作業も
みんなで楽しくできました



いただきます！



実践事例

安心して暮らせる まちづくり



みんなで買い物の協力を行ったり、災害への防災意識を高める取り組みが、各地区で行われています。

養老

生協を利用した買い物に 取り組んでいます！

養老地区では、「皆が楽しく暮らしやすい養老をめざす」という目標のもと、毎週のいきいきサロンの中で、生協を利用している方に注文のしかたを教わり、一緒に注文しています。

今後、買い物が困難となる状況を見据えて、今のうちから慣れておこうという思いから取り組みが始まりました。



栄町

起震車体験を行いました！



栄町地区では、自主防災会が中心となり、起震車体験が行われました。区長さんを中心に積極的な声かけもあり、地区内外から、子どもから高齢者まで幅広い年代の方々が参加されました。想像以上の激しい揺れに、「こんなに揺れるのか」と驚く声もきこえました。また、就寝場所や棚・タンスの固定について改めて考えるきっかけにもなり、防災意識の高まりに繋がる取り組みとなりました。

実践事例

暮らしを支えるまちづくり



「見守り・声かけ 支え合うまちづくり」の活動目標のもと、見守り隊として高齢者の見守り活動を行っている地域をご紹介します。

戎町

『戎町見守り隊』が高齢者の家を訪問しています！

戎町地区では、「戎町見守り隊」の活動が6年目を迎えました。

区長をはじめ、民生委員や福祉協力員、婦人会、老人クラブの方々が、月に1回高齢者の家を訪問しながら、声かけを行います。道行く方も「ごくろうさま」と声を掛けあうことで、地域の絆も深まっています。



「ひまわりのような存在に」その思いから黄色のジャンパーを作りました



こんにちは！



実践事例

福祉の心を育てるまちづくり



子どもが地域で学べる機会として、子ども民生委員が地域の高齢者の家を訪問しています。

子ども民生委員

下川口小学校と下ノ加江小学校の5年生と6年生のみなさんが、子ども民生委員の取り組みを行っています。

年度初めの訪問時には、小学校近隣地区の民生委員さんと一緒に高齢者の家を訪問し、時に照れながらも元気に自己紹介を行い、「最近困っちゃうことはないですか？」「なにか手伝えることはありますか？」と声をかけていました。



訪問時の心構えを伝授！



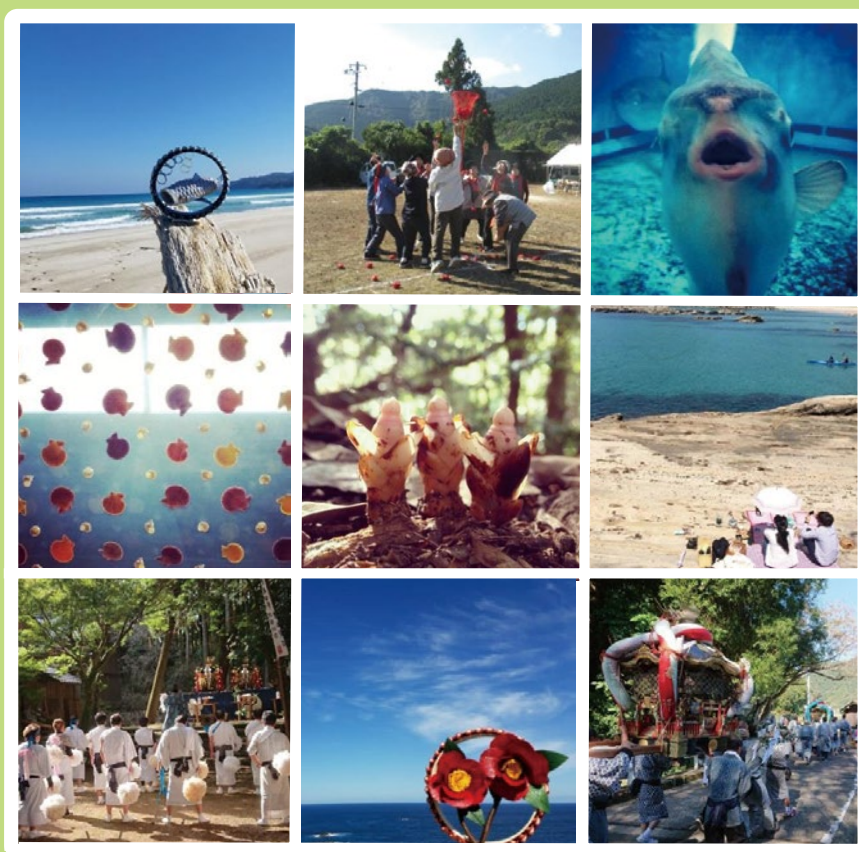
緊張しながらもしっかりと聞き取りを行いました！

おわりに

土佐清水市第3期地域福祉計画も後半に突入しました。今回ご紹介した事例のほかにも、それぞれの地区で自分たちのペースでしあわせなまちづくりへの活動を行っています。

住民座談会で立てた計画をめざして、最初は小さな活動からはじまり、人を呼び、人がつながり、みんなで助け合い、大きな活動になって地域全体へ広がっています。この冊子が今後の活動の参考になれば幸いです。

これからも「みんな家族 地域の絆で支えあう とさしみず」をめざして、みんなで取り組んでいきましょう。



土佐清水市健康推進課
〒787-0392
土佐清水市天神町11-2
TEL:0880-82-1120
FAX:0880-82-5599

土佐清水市社会福祉協議会
〒787-0323
土佐清水市寿町11-9
TEL:0880-82-3500
FAX:0880-82-4047